

「東京家政学院大学 Child Studies & Nutrition」 『相原ふれあいフェスティバル 2023』食育ゲームの出店

1. 『相原ふれあいフェスティバル2023』参加の準備

令和5年10月8日（日）に『相原ふれあいフェスティバル2023』が相原中央公園で開催されるにあたり、食物学科3年生9名、4年生4名で「東京家政学院大学Child Studies & Nutrition」として、食育ブースを出店することにしました。食育内容は昨年度と同様に、小さなお子様を対象に、野菜と魚の知識を深めてもらう「野菜当てゲーム」と「魚釣りゲーム」を行うことにしました。

①「野菜当てゲーム」

フェルトを土に見立て、土の下に野菜の根を埋め、葉のみ土の上に出すようにしました。葉を土から抜くと、野菜の全体が見え、野菜の種類がわかるようにしました。参加者には、葉を見て野菜の種類を当ててもらい、またその野菜を使った料理の紹介をすることにしました。「もぐら」と「みみず」も入れておき、よい土作りのために必要な生き物であることも伝えることにしました。

②「魚釣りゲーム」

魚の写真を厚紙の表裏両面に貼り、厚紙が開かないようクリップで留めました。魚の内側には、魚の名前、長さ(cm)、旬の時期、その魚を使った料理や加工食品を書きました。釣り竿は割りばしで作り、釣り針には磁石を使用し、魚を留めたクリップと磁石がくっつくことで釣り上げられるようにしました。釣った魚を入れるバケツも準備しました。海洋ごみとしてペットボトルとビーチサンダルも入れておき、環境問題についても考えてもらうようにしました。



「野菜当てゲーム」の全体像



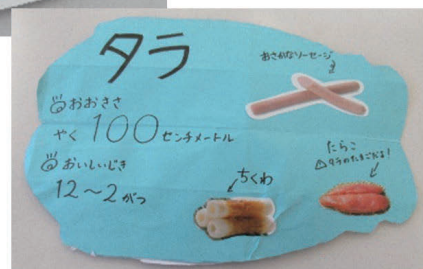
「魚釣りゲーム」の全体像



「野菜当てゲーム」の野菜



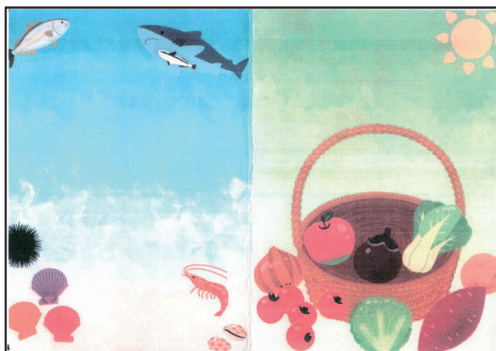
「タラ」(上) と
「タラの紹介」(右)



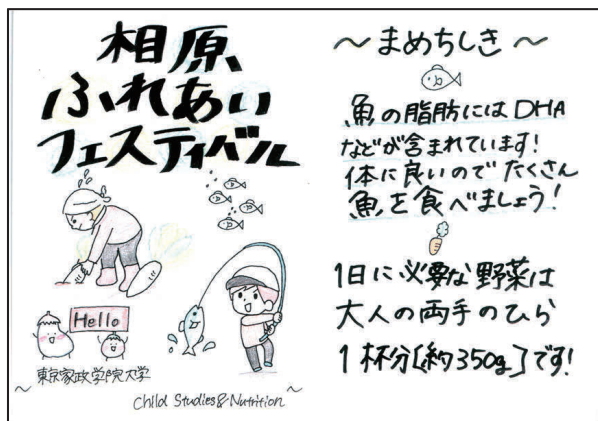
2. 『相原ふれあいフェスティバル2023』への参加

たくさんの小学生や家族連れの皆さんが参加して下さり大盛況でした。昨年度との違いは、参加賞として魚と野菜の豆知識を書いたシールスタンプカードを作成し、配布したことです。このカードには、参加して頂いたお子さんに、準備しておいた野菜や果物、魚の好きなシールを貼ってもらいました。そのためか、何度も魚釣りや野菜当てゲームに参加してくれたお子さんもいました。保護者の方も一緒に参加して下さり一緒に楽しんで下さるご家族もいらっしゃいました。

本学科3年生の学生は、はじめは小さなお子さんとの接し方に戸惑っているようでしたが、時間が経つごとに慣れていったようでした。4年生の学生は、昨年度参加したこともあり、慣れた様子で参加者の皆さんに対応をしていました。



「魚釣りゲーム」と「野菜当てゲーム」のブース



参加賞のシールスタンプカード (上: 中身, 下: 表)

3. まとめ

今回は、児童学科の学生が参加できなかったことが残念でした。しかし、参加した食物学科の学生にとりましては、地域の皆さんと接する機会にもなり、また3年生と4年生とのコミュニケーションを取る場にもなり、今年度も『相原ふれあいフェスティバル2023』への参加は、大変有意義なものとなりました。

プロジェクト概要

- テーマ
『相原ふれあいフェスティバル 2023』食育ゲームの出店
- パートナー
『相原ふれあいフェスティバル 2023』事務局
- 担当教員
現代家政学部 食物学科 教授 山田正子
助手 樋口誉誌子
現代生活学部 児童学科 准教授 中田範子
- 実施期間
2023年10月8日(日)
10時～16時